

# 最適な学習環境をつくる

子どもたちの学習環境に何が欠けていますか。どんな要素を加えたいですか。何から始めますか。

NOBURO HAGIWARA JAN 19, 2019 09:37PM

## Campfire, Cave, and Watering hole

講座で紹介することができませんでしたが、機能や目的、学習者の好みに合わせて異なった学習環境を準備するというdesign conceptです。試してみませんか。

### Campfires, Caves and Watering Holes

Students visit the "campfire" to hear a story at Northern Beaches School in Sydney. Visit

[vimeo.com/49879366](https://vimeo.com/49879366) to take a video tour of the school and see how educators are creating learning spaces...

21ST CENTURY SCHOOLS



## 校舎改築を前にして

来年度、大幅な校舎改築があります。つまり、数十年後まで使うことになると思います。それなのに、教員も生徒も真剣に自分たちが1日のほとんどを過ごす教室空間やその他を考えたり、意見交換したりできていないので、残念だと改めて思いました。でも、今日のことは共有します。

## 選択肢

学習者には、自分に合わせて選択肢があるといいと思います。大人は経験上、無意識にも意識的にも自分に都合の良い選択をしています（今日は忙しいから小テストは明日に回そう、なんてことまでも）今の状況は、同じ目標に向かって同じ制限時間でやることが多いです。選択肢の幅が子ども達の将来にも影響すると思いました。聴覚優位の子どもは、きっと、1時間で2回以上クラスメートが椅子を引いたりする音には耐えられないですね・・・少しだけ授業に遅れることで、その音を聞かなくて済むのなら、それも選択肢に入れてあげたいし、周りの子どももそれを知れば少しずつ音を立てないように椅子の出し入れができるかも。

## 何から始めるか

学校全体のレイアウト変更や教室の備品全体を変更すると言うことは難しいが、教師自身自分を磨き、しっかりしたマインドセットをもてるようにしていきたい。

## 要素

自分で考えたり、判断したり、とにかく「自分」で選んで決められるという環境。そのためには、現在過去未来にかけて、様々な視点で

## 学習環境に欠けているもの

支援者のマインドセット。

閉鎖的で画一的な学習環境からは、独創的な発想は生まれにくい。生徒の創造性や感性や美意識を伸ばすには、生徒の多様性に対応できる環境が必要だと思いません。せめて、教室に入ったときに五感を刺激するような仕掛けをたくさん作っていききたい。**Denmark Study Tour**のアルバムです。

IBC Kolding - SDU Kolding

<https://photos.app.goo.gl/x5zTEdkwJoTeMBoT8>

FREDERICIA GYMNASIUM

<https://photos.app.goo.gl/c9TFB5EDDUk1eTLA>

### IBC Kolding - SDU Kolding

387 new photos · Album by 柴田直樹

GOOGLE PHOTOS



## 余白

学習環境を形作るためには根本的な「授業」のあり方を考えることも必要だと思います。

もっと自由な授業を作るため、生徒たちが自由に学べるようになるための自由な空間が必要であり、そのためには大人も子供も時間的な余白や空間的な余白が必要だと思います。

〜〜

教室以外で学ぶことも大切ですが、現状は教室が学びの場になっているので、まずは「前」の存在をなくすことが始められることだなと。

心地よさ→子供らの安全安心を確保できる場所であることも大切。そのために、教える側の雰囲気や伝える術も磨いていく必要が大いにあります。

～～～

- ・壁に貼れるホワイトボード
- ・ガラスに描けるマーカー
- ・授業担当の先生方の協力と理解

この辺が明日からなんとかなれば・・・

## 明日から

環境を変えることは難しいことだと思っていましたが、音や配置など、すぐに工夫できるものがあることに気がつきました。出来ない理由を探すのではなく、出来ることから取り組んでいきたいと思います。まずは明日の授業、生徒が「前を向く」時間を減らしたいと思います！

私の教室や、世間一般的な学校の教室というものは、学習者の自由度というカリラックス感が欠けているように思います。

お風呂に入っているかのようなリラックスしたスペースであったり、ソファで寛ぎながらアイデアを交流させたりなどのスペースがほしいなと思いました。

いつかの学習会で「先生方のハンドアウト、余白を大切にしましょう。」と話されていたのを思い出しました。

自由度の高い、学習者に選択の余地があるlearning studioを帰りの新幹線で考えてみようと思いました。

あとは常にアップデートですね！curationを外の世界と行うこと、学習者の意見を取り入れること。もう少しできることがありそうです。

## 環境

「最適な環境」は「変化し続けられる」ことなのではないかと感じました。

「定まった実験室」ではなく、教室環境そのものを実験しながら、試行錯誤できることが大事なのではないかと思います。

===

年によって、季節によって、天気によって、生徒によって

===

その時々によって少しずつ増やしたり、減らしたり。

でも・・・それでも・・・

===

誰と過ごすか

===

聖地がこれを選択できることも重要なのではないかと思います。

学校という枠（「教室」などの既成概念）を外し、学びという視点から再構築すること。

<足りないもの>

ワクワクする環境

生徒も教員も、その他のステークホルダーも。

<目的>

プロの役目として、触れることや、アイデアの拡散、収束、深い思考、没頭などのフェーズにあった環境（機会）を作ること。

<始めること>

教室作りワークショップをみんなでやってみる。

<目指すこと>

Learning Anywhere

## affordance

学習者が自然に学習に向かうような仕組み・仕掛けが日本の学校校舎にはあまりにも欠けていると思います。まずは自分の持分の部屋を生徒が「ここいい!」と感じてくれるように、また自分がそう思えるように教室環境（私の場合は3つのPC室）をブラッシュ・アップしていきます。また、遣唐使ではないですが、自分が見聞きしたことを管理職ルートおよび草の根学内学習会で伝えていきます。

自分の人生の大半を消費している「働く場」が楽しいものでなくてどうでしょうか。

## 学習環境について

小さいジオラマを作るという活動がとても良い経験でした。

心の中で、どこかに、ここは変わらないだろう。変えられないだろう。と、学習環境については諦めてしまっている部分があることに気づけたからです。

しかし、他の先生のアイデア・意見を聞いていると、自分の世界の狭さを感じ、「そうか、こんな方法もあるんだ、よし、やってみよう。」という気持ちになれました。

子どもたちはどんな環境で学びたいと思っているのか？ ということをもっとしたいのか？ まずはそれを調査することから初めていきたいと思っています。

学習環境に関するキーワードは「自由（開放感）」、「いつでもどこでも」「自分専用（お気に入り）」なのかなと感じました。

学ぶという行為に対して、自然体で、自分のこだわりをとことんまで追求できるということが大事だと思うからです。

## 今日の研究会

デンマークの報告を聞いて感じたことですが、日本は生徒を縛りつけて？、まわりに影響されないように閉じ込めて、先生の話以外気が散らないようにしていくのが学習環境のように感じます。

しかし、オーストラリアを含め例えば外で授業を行っても、きちんと集中して課題がこなせる人達がいるわけで、なんとか文化の違いではなく、自分で考えて本当の意味で、主体的に学べ

るようになってもらいたいと思います。  
もしかすると、本当に変われば逆の意味でどんな環境でも学べるようになるのではないかと感じました。自分の最終的なゴールはそこにおき、また今日のお話から実践できることは取り組みたいと思います。  
ありがとうございました。

## 欠けているもの・・・何からできるか・・・

「欠けているもの」よりも、「無くてよいもの」が多すぎると感じます。  
大人側の「こうしておいてほしい」という枠の中に閉じ込められてしまうような学習環境を変えたいですね。

「何からできるか」・・・きっと結構できることはあるんのは思いますが・・・まずは、「この環境でいいのかな？」という価値観を共有していくことですね。

教室の「掲示板」買い替えの時期までには共通意思形成をして・・・壁がホワイトボード！にしたいです。

「教室」の目的は生徒を静かに座らせておくことではないはずなので。「教室」の概念さえ変われば、「外へ」「外へ」ばかりを意識しなくても良くなると思いますし。  
ルソーの時とは違う「スペース」をつくりたいですね。

## 生徒たちの学習環境に欠けているもの

「今いる学習環境より、もっと自由な空間がたくさんある」という意識だと思います。誰かに決められたところで誰かに出された課題をやるのではなく、自分が好きな空間で自分がわくわくする学びをするという要素を加えられたらいいなと思います。今までの「教室」という形にとらわれなくていいんだということを生徒や保護者にも知ってもらうところから始めたいです。

\*\*\*\*\*